第７課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 019）
「経験から学んだこと」（550～650 字）のアウトライン

アウトライン用紙には、作文ではなく、アイディアだけを書いてください。
次のページの例のように、ポイントを「・」に短く１文で書いてください。

❶ 序論		話題「大変だった経験」の導入（どうにゅう） ・ ・
❷ 本論（１）	大変だった経験	何が大変だったか ・
		大変だった経験の具体的な説明 ・ ・ ・ ・
		その経験で感じたことのまとめ ・
❸ 本論（２）	そのことへの対応	本論（１）で述べた経験への対応（まず何をしたか） ・
		どのようなことをしたかの具体的な説明 （対応した結果どうなったかや、その後どのようなことをしたか） ・ ・ ・
❹ 結論		経験から学んだこと ・ ・ ・

■記入例：モデル作文「文化の壁を越えて」（テキストp. 017）のアウトライン

❶ 序論		話題「大変だった経験」の導入（どうにゅう） ・４カ月前に日本に来た ・大変なこともあった
❷ 本論（１）	大変だった経験	何が大変だったか ・日本人の友達がなかなか作れなかった
		大変だった経験の具体的な説明 ・イベントで知り合いができてもイベント以外で会わない ・誘うと返事はしてくれる ・実際は行かない ・
		その経験で感じたことのまとめ ・嫌われる行動をしている？
❸ 本論（２）	そのことへの対応	本論（１）で述べた経験への対応（まず何をしたか） ・ルームメートに相談した
		どのようなことをしたかの具体的な説明 （対応した結果どうなったかや、その後どのようなことをしたか） ・日本人同士でも同じだと言われた ・定期的に会う機会が増えるといいらしい ・サークルに入った
❹ 結論		経験から学んだこと ・違和感や疑問隠さない ・違いを理解すし、受け入れることが大切だ ・

第8課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 051）
「＿＿＿＿＿さんを通してみる＿＿＿＿＿＿＿の魅力」（800 字程度）のアウトライン

ポイントを「・」に短く１文で書いてください。
・❷～❺の【質問】の後にはまず、【答えの要点】を短く書く。
・その後に具体的な例やエピソードを使って詳しく説明する。

❶ 書き出し		だれに何についてインタビューしたか ・
❷ 本文（１）	質問１	【質問：きっかけ】 ・ 【答えの要点】 ・ 【具体的な説明】 ・
❸ 本文（２）	質問２	【質問：どんなことをするか、特に何が好きか】 ・ 【答えの要点】 ・ 【具体的な説明】 ・
❹ 本文（３）	質問３	【質問：どんな変化があったか、どんな影響を受けたか】 ・ 【答えの要点】 ・ 【具体的な説明】 ・
❺ 本文（４）	質問４	【質問：魅力】 ・ 【答えの要点】 ・ 【具体的な説明】 ・
❻ まとめ		インタビュー後の感想 ・

第９課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 083）
「おすすめの小説か映画のレビュー」（600 字程度）のアウトライン

ポイントを「・」に短く１文で書いてください。

・❶の段落の最初に【パンチライン】を書き、作品の世界に引き込む（draw in）。その後にストーリーやどんな作品かを説明する。
・❷・❸の段落の最初に作品の魅力（みりょく）的な点を短く書く。
・その後に具体的な例を使って詳しく説明する。

❶ 序論		内容紹介 【パンチライン（その作品を象徴するせりふやフレーズ）】 ・ 【どんなストーリーか／どんな作品か】 ・ ・
❷ 本論（１）	魅力１	その作品の魅力を、具体例を入れて説明する 【魅力的な点】 ・ 【その魅力の具体的な説明】 ・ ・ ・
❸ 本論（２）	魅力２	その作品の魅力を、具体例を入れて説明する 【魅力的な点】 ・ 【その魅力の具体的な説明】 ・ ・ ・
❹ 結論		魅力のまとめ、どんな時／人におすすめか ・ ・ ・

第 10 課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 119）
「家事分担の国際比較調査について」（600 字程度）のアウトライン

ポイントを「・」に短く１文で書いてください。

・❷の段落で大きな差がある結果を比較しながら説明し、そこからわかること（傾向）を１文で述べる。
・❸の段落で、なぜその傾向が見られたかを、その背景にあるものを説明する。そう考える根拠（こんきょ）として、他の調査や一般的に言われていることを使う。

❶ 序論		いつ、誰が、誰を対象に調査を行ったか ・
❷ 本論（１）	データ分析（ぶんせき）	調査結果の説明（大きな差がある結果を比較する） ・ ・ ・
		結果からわかること（傾向） ・
❸ 本論（２）	考察（こうさつ）	なぜ❷で述べた傾向が見られるのか、背景にあるものの説明 ・ ・ ・
		根拠（他の調査や一般的に言われていることを使う） ・ ・ ・
❹ 結論		分析内容のまとめ ・
		それについての意見や社会への提言（ていげん） ・

第 11 課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 149）
「日本語の言葉とそれに似ている母語の言葉の比較」（500～600 字）のアウトライン

ポイントを「・」に短く 1 文で書いてください。

・❷の段落の最初に、【いつ、その経験をしたか】を短く書く。
・その後に具体的なエピソードを使って詳しく説明する。

❶ 序論		違いがある言葉の導入（どうにゅう） ・
❷ 本論（1）	違いに気がついたきっかけ	違いに気がつくきっかけとなった経験 【いつ、その経験をしたか】 ・ 【その経験の具体的な説明】 ・ ・ ・ ・
❸ 本論（2）	比較	意味や使い方の違いの説明、比較 ・ ・ ・ ・
❹ 結論		違いや経験についてのまとめ ・

第 12 課　書く

■書いてみよう（テキスト p. 183）
「小論文」（1000 字程度）のアウトライン

ポイントを「・」に短く１文で書いてください。

・❷～❹の段落の最初に、自分の主張の【理由】を短く書く。
・その後に【具体的な例や説明】を書く。

❶ 序論	背景の説明（読み物に書かれていた意見と、その反対の意見を提示する） ・
	論点の提示 ・
	主張 ・
❷ 本論（１）	【理由１】 ・ 【具体的な例や説明】 ・ ・
❸ 本論（２）	【理由２】 ・ 【具体的な例や説明】 ・ ・
❹ 本論（３）	【理由３】 ・ 【具体的な例や説明】 ・ ・
❺ 結論	３つの理由をまとめる ・
	違う立場を認(みと)めてから、主張する ・
	再度主張を述べる ・

第 12 課「❶ 序論」のサンプル

① 第 10 課：読み物 2「日本人が政府に期待するもの」

教育費の負担は主に政府の役割か、家庭の役割か

ジョージ・テイラー

国際比較グループＩＳＳＰが行った「政府の役割」に関する調査の報告を読んだ。調査では、「収入が少ない家庭の大学生に経済的な援助を与えること」が『政府の責任』だと考える人は、ほとんどの国で 8 割を超えると報告されている。しかし、一方で、日本では教育費の負担は家庭の役割だという考えが広く社会に根づいているそうだ。では、教育費の負担は政府の役割なのだろうか。それとも、家庭の役割なのだろうか。私は、……

② 第 11 課：読み物 2「二重人格者の会話」

日本語を話す時日本語の性質に合わせて性格を変えたほうが
コミュニケーションはうまくいくか

ジョージ・テイラー

加賀野井秀一氏が書いた「二重人格者の会話―日本語の復権」を読んだ。加賀野井氏とフランス人の友人は会話する時、はっきりした返答を求める場合にはフランス語を使い、適当に言葉をにごしたい場合には日本語を使うそうだ。それぞれの国語によって表現しやすい二つの人格を、いつのまにかうまく使い分けているというのだ。言語によって表現しやすい人格があるのであれば、外国人が日本語を話す場合、日本語の性質に合わせて性格を変えたほうがコミュニケーションはうまくいくのではないか。しかし、一方で、外国語は自分の考えを表す道具にすぎないと考える人もいる。では、外国人が日本語を話す場合、日本語の性質に合わせて性格を変えたほうがコミュニケーションはうまくいくのだろうか。それとも、日本語の性質に合わせて性格を変えると、かえってコミュニケーション上の問題が生じやすくなるのだろうか。私は、……

③ 第 12 課：読み物 1「奇跡の職場」

いい会社を作るには、ボトムアップの全員経営がいいか、
経営者が決めるトップダウン経営がいいか

ジョージ・テイラー

東北新幹線の清掃会社テッセイの経営について書かれた『奇跡の職場』を読んだ。筆者の矢部輝夫氏によると、３Ｋの仕事であるにもかかわらず、テッセイのスタッフたちは表情が明るく、やる気にあふれているのは、テッセイが現場ありきの「全員経営」を目指しているからだそうだ。しかし、一方で、欧米では経営者がすべてを決めるトップダウン経営が多いと言われている。では、いい会社を作るためには、ボトムアップの全員経営がいいのだろうか。それとも、経営者が決めるトップダウン経営がいいのだろうか。私は……